

かんしょの基腐病（新発生）

令和3年8月中旬、道内のかんしょ（さつまいも）栽培ほ場において、葉が黄化して生育不良になり、根元が黒変して腐敗する症状が発見された。茎からは糸状菌が分離され、分離菌の形態的特徴と農研機構植物防疫研究部門において罹病組織から核酸を抽出しリアルタイムPCRを行った結果、本病原菌は *Diaporthe destruens* (Harter) Hirooka, Minoshima et Rossman と同定された。

（上川農試）



かんしょの基腐病（上川農試 長濱 原図）